



会 社 名 株式会社 ジュンテンドー
 代表者名 代表取締役社長 飯塚 正
 (コード番号 9835 東証・大証二部)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 神原 徳行
 (TEL 0856-24-2400)

「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用及び業績予想(連結、個別)の修正に関するお知らせ

当社は、平成18年2月期中間期より「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用することといたしました。

並びに、平成17年4月21日の決算発表時に公表いたしました平成18年2月期中間期及び平成18年2月期の業績予想(連結、個別)を修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用による減損損失の計上

当社及び当社グループは、財務体質の早期健全化を計るため「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用することといたしました。

当中間期におきまして、下記の減損損失を特別損失に計上する予定であります。

連結減損損失	19億円
個別減損損失	19億円

2. 業績予想の修正

(1)平成18年2月期連結中間期業績予想数値の修正(平成17年3月1日～平成17年8月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	24,200	250	15
今回修正予想(B)	23,570	195	1,860
増減額(B - A)	630	55	1,845
増減率	2.6	22.0	-
前期(平成17年2月期中間)実績	23,621	123	439

(2)平成18年2月期個別中間期業績予想数値の修正(平成17年3月1日～平成17年8月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	22,700	220	40
今回修正予想(B)	22,090	135	1,905
増減額(B - A)	610	85	1,865
増減率	2.7	38.6	-
前期(平成17年2月期中間)実績	22,150	59	477

(3)修正の理由

売上高は、当初予想並みに堅調に推移いたしましたものの、若干未達の見通しとなりました。

経常利益は、上期に出退店を進めたことによるコスト増等により、当初予想を下回る見通しとなりました。

当期利益は、減損会計の早期適用により特別損失に減損損失を計上しましたことから当初予想を大きく下回る見通しとなりました。

(4)平成18年2月期通期業績予想(平成17年3月1日～平成18年2月28日)

当社は平成17年9月1日に当社全額出資子会社である順天堂商事(株)を吸収合併いたしました。このため、通期の業績予想(連結・個別)につきましては、現段階での予測が難しいため、10月に予定しております中間決算発表時にお知らせいたしますが、現在の推移を踏まえて予測いたしますと概ね次のような数値になると推定しております。

平成18年2月期連結通期業績予想数値の予測(平成17年3月1日～平成18年2月28日)

(単位:百万円、%)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	47,450	200	155
今回修正予想(B)	47,470	185	1,990
増減額(B - A)	20	15	1,835
増減率	0.0	7.5	-
前期(平成17年2月期)実績	47,036	192	476

(注)当社は平成17年9月1日に当社全額出資子会社である順天堂商事(株)を吸収合併いたしました。このため、今回の期末業績予想から、従来の「売上高」を「営業収益」に変更しております。なお、前回発表予想及び前期実績は、従来の「売上高」を記載しておりますが、これを今回記載の「営業収益」とした場合の数値は、前回発表予想が48,000百万円、前期実績が47,526百万円となります。

平成18年2月期個別通期業績予想数値の予測(平成17年3月1日～平成18年2月28日)

(単位:百万円、%)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	44,300	140	200
今回修正予想(B)	44,800	120	2,040
増減額(B - A)	500	20	1,840
増減率	1.1	14.3	-
前期(平成17年2月期)実績	44,058	81	551

(注)当社は平成17年9月1日に当社全額出資子会社である順天堂商事(株)を吸収合併いたしました。このため、今回の期末業績予想から、従来の「売上高」を「営業収益」に変更しております。なお、前回発表予想及び前期実績は、従来の「売上高」を記載しておりますが、これを今回記載の「営業収益」とした場合の数値は、前回発表予想が44,840百万円、前期実績が44,550百万円となります。

以上